

# サクラソウ サクラソウ科

*Primula sieboldii* E.Morren

鳥取県：絶滅危惧I類(CR+EN)

環境省：準絶滅危惧 (NT)



日野町 2010.5.5/撮影：野津 昭

■**選定理由**：県内では西部の山間地数カ所に自生するのみ。保全活動の成果があがりつつあるが、全体として状況の好転には至っていない。

■**特徴**：落葉樹林の畦畔や湿潤な草地に生育する小型の多年生草本。春植物に近い生活史をもつ。地下茎により栄養繁殖する。葉は根生し、軟毛が密生、葉脈に沿ってしわ多数、鈍重鋸歯縁。花期は4-5月、茎頂に散形状に花をつける。花冠は5裂し淡紅色。長花柱花、短花柱花の2花型があり、同花型間の受粉では結実しない。しばしば同一クローンからなる群落を形成し、種子繁殖が困難な場合がある。里山の利用放棄が衰退に影響したと考えられ、溪畔の人工林伐採により、生育改善の自生地もある。

■**分布** 県内：江府町，日野町，日南町。県外：北海道，本州，九州。

■**保護上の留意点**：採取防止。保全活動の継続と里山の維持管理。

■**特記事項**：国立・国定公園採取禁止指定種，鳥取県条例採取禁止指定種

■**文献**：96,97.

執筆者：野津 昭（鳥取県西部希少野生植物保全調査研究会）